

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
10時43分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020300	環境保全課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00652	専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	20	快適な生活環境の確保							
予算事業	10499	01	04	01	06	05	01	01	専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導事業（環境衛生費）
所属長	高島 博								担当者（内線）橋本 賢一（2631）
根拠法令等	水道法、吹田市簡易専用水道管理運営指導要領等								
事業開始年度	平成25年度	直近の改正			平成26年度				
改正内容	平成26年4月1日から大阪府特設水道条例に基づく特設水道事務が吹田市に委譲された。 水質基準に関する省令の一部改正								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	専用水道設置者、特設水道設置者、簡易専用水道設置者、小規模貯水槽水道設置者、飲用井戸設置者		
目標	各施設の適切な衛生管理		
結果	施設の利用者が、安心して水道の飲用をすることができる。		
事業概要	設置者に対して水道の適正な管理を図るため、届出の審査、確認、受理を行い、施設への立入検査や不適事項の指導や助言を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) ケイ・エス分析センター
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		水質検査業務
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,887	469	1,201	402	1,005
人件費職員数(人)	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	18,227	8,369	9,253	8,454	8,950
特定財源(C)	141	100	141	134	100
国	0	0	0	0	0
府	141	100	141	134	100
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	18,086	8,269	9,112	8,320	8,850
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,086	8,269	9,112	8,320	8,850
財源計(G+D)	18,227	8,369	9,253	8,454	8,950

所属	環境保全課
事務事業番号	00652

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	専用水道、特設水道施設立入検査延べ件数	件	目標値	29.00	24.00	24.00
			実績値	29.00	26.00	
			達成度(%)	100.00	108.30	
目標値の積算方法	施設数20(専用水道19、特設水道1) 立入件数 自己水(前期12件+後期4件) +受水のみ8件=24件	単位当たりコスト	総事業費(千円)	288.59	325.15	
			一般財源(千円)	285.14	320.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	簡易専用水道検査結果審査件数	件	目標値	620.00	620.00	676.00
			実績値	576.00	593.00	
			達成度(%)	92.90	95.60	
目標値の積算方法	簡易専用水道対象施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	14.53	14.26	
			一般財源(千円)	14.36	14.03	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	立入検査により確認できた、適切に維持・管理が行われている施設数	件	目標値	20.00	20.00	20.00
			実績値	20.00	20.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	適切に維持管理が行われている施設数/立入施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	418.45	422.70	
			一般財源(千円)	413.45	416.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	受検結果から確認できた、適切に維持・管理が行われている施設数	件	目標値	620.00	620.00	676.00
			実績値	456.00	481.00	
			達成度(%)	73.50	77.60	
目標値の積算方法	適切に維持管理が行われている施設数/受検施設数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	18.35	17.58	
			一般財源(千円)	18.13	17.30	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適正である。(理由: 事業費総額は横ばいであり、水質検査を委託することにより適正な事業費で実施できている。)</p> <p>【指標数値の評価】 計画的な立入検査や水道検査結果に基づく設置者への指導・助言により、適切な施設の衛生管理が行われている。</p> <p>【今後の方向性】 今後も引き続き、届出・報告書の審査により、設置者への指導・助言を行うとともに、業務遂行において必要な水質検査業務の委託や立入検査等をする必要がある。</p>

事務事業分析シート

2018/6/516:49

所属名	環境保全課	事業名	専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00652				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	
(4) 公平性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境保全課	事務事業番号	00652
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(4)公平性③適正な受益者負担について、設置者が水道法に基づく水質検査を実施しており、本市は水質管理の意識づけと事故の未然防止の観点から水質検査を行うとしたものであり、本市の検査にかかる費用に受益者負担を求めるのはなじまないと考える。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>・専用水道、特設水道、簡易専用水道については、設置者による検査結果の報告や、市による立入検査により、概ね適切に施設の衛生管理が行われていますが、法定検査未受検施設の受検指導及び不適事案の改善指導について、より効果的な指導方法を研究する必要があります。</p> <p>・飲用井戸については、衛生管理にかかる啓発を実施していますが、小規模貯水槽水道にも、衛生管理にかかる啓発が必要であると考えており、関係機関とも連携し具体的な啓発方法についての検討を進めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

中核市へ移行した場合は、本業務は保健所への移管が適切であると考えます。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月21日
13時24分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020300	環境保全課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00654	環境監視事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	10	環境汚染防止対策の推進		
予算事業	10559	01	04	01
所属長	高島 博	16	02	01
根拠法令等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法ほか			
事業開始年度	昭和43年度	直近の改正	平成26年度	
改正内容	水質：環境基準値の改正（トリクロロエチレン）			
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） ダイオキシン類の分析、一般環境騒音の測定、ため池の水質測定等については、自治事務として実施しています			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市全域		
目標	環境中の大気、水質、騒音を測定すること。		
結果	汚染物質等を測定することによって、健康被害を未然に防止し、環境負荷の少ない住みよいまちづくりに寄与します。		
事業概要	市民の健康被害の未然防止並びに環境保全を確保するため、生活環境に影響を及ぼす大気汚染、水質汚濁及び騒音の効率的な環境監視を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	帝人エコ・サイエンス（株）関西事業所
		委託先②	環境計測（株）
		委託先③	（株）ダイケイサービス関西
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	82,083	77,818	112,734	89,227	94,762
人件費職員数(人)	1.60	5.50	5.50	5.50	5.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	13,072	43,450	44,286	44,286	43,698
総事業費(A+B)	95,155	121,268	157,020	133,513	138,460
特定財源(C)	1,672	1,643	1,643	1,533	1,533
国	0	0	0	0	0
府	1,672	1,643	1,643	1,533	1,533
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	93,483	119,625	155,377	131,980	136,927
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	93,483	119,625	155,377	131,980	136,927
財源計(C+D)	95,155	121,268	157,020	133,513	138,460

所属	環境保全課
事務事業番号	00654

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	環境監視測定地点内訳 (平成30年度) 大気 5地点 水質 146地点 騒音 34地点 計185地点	地点	目標値	91.00	192.00	185.00
			実績値	91.00	192.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	測定計画に基づいた測定地点 (水質地点数のうち地下水は、概況調査地点・継続調査地点、H29より南吹田地下水汚染対策他含む)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,332.62	695.38	
			一般財源(千円)	1,314.56	687.40	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	環境評価実施地点	地点	目標値	91.00	192.00	185.00
			実績値	91.00	192.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	大気、水質、騒音の各測定計画に基づいた測定地点	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,332.62	695.38	
			一般財源(千円)	1,314.56	687.40	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は削減の余地がある。(事業費については平成25年度にアウトソーシングを行い改善を図りましたが、今後測定地点数や測定回数を見直すことで削減の余地があると考えます。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標の達成度を踏まえると、測定計画に基づき着実に実施されており事業成果は現状で妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 環境監視事業については、そのほとんどが法定事務であり、自治事務であっても環境基本計画に定められている事業であるため、事業の妥当性は適切であると考えられます。今後適切な大気環境監視を行っていく上で、測定機器の老朽化や大気環境測定局の配置効率化などの課題が有り、計画的な機器更新や測定の効率化を行う必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境保全課	事業名	環境監視事業	事業区分	その他
事務事業番号	00654				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞給等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境保全課	事務事業番号	00654
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>環境監視事業についてはそのほとんどが法定受託事務であり、自治事務であっても環境基本計画に定められている事務であるので、法改正等がなければ、事務改善等を検討しながら、現在の事業を継続する。 大気汚染常時監視において、測定機器の老朽化が進んでおり、計画的な更新が必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事業費が増加する傾向にあるため、効率性を見直します。
 中核市移行に向けて、業務量の増加が見込まれます。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
10時47分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020300	環境保全課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00655	旧環境監視庁舎施設維持管理事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	10	環境汚染防止対策の推進		
予算事業	10561	01	04	01 16 02 02 01
所属長	高島 博	施設維持管理事業（公害対策費） 担当者（内線）安倉 弘志（内2625）		
根拠法令等	電気事業法、消防法、建築基準法等			
事業開始年度	昭和63年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	旧環境監視庁舎		
目標	庁舎の維持管理を適切に行います。		
結果	行政財産の減失を防ぎます。		
事業概要	旧環境監視庁舎の樹木剪定、消防設備等の総合的な建物の管理を行います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	ニッタン（株）関西支社
		委託先②	（株）札幌造園
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	消防設備等保守業務、樹木剪定
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	489	425	491	476	489
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,306	1,215	1,297	1,282	1,284
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,306	1,215	1,297	1,282	1,284
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,306	1,215	1,297	1,282	1,284
財源計(C+D)	1,306	1,215	1,297	1,282	1,284

所属	環境保全課
事務事業番号	00655

2頁
平成30年 6月 1日
10時47分26秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	環境監視庁舎電気使用量	kWh	目標値	3,058.00	3,225.00	3,085.00
			実績値	3,225.00	3,085.00	
			達成度(%)	105.50	95.70	
目標値の積算方法	前年度実績を目標とします。実績が低いほうがより良い結果のため、達成度が低いほうが有意な結果となります。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.38	0.42	
			一般財源(千円)	0.38	0.42	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 庁舎の維持管理を適切に行いました。	達成状況 行政財産の減失を防ぎました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:維持管理を行うにあたり、最低限の必要な費用のみであるため。)</p> <p>【今後の方向性】 施設の次の利活用方法が定まるまでの移行期間として、環境保全課で法的に必要な最小限の維持管理を行う。</p>

事務事業分析シート

所属名	環境保全課	事業名	旧環境監視庁舎施設維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00655				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	10	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	62	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境保全課	事務事業番号	00655
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>環境監視事業のアウトソーシングに伴い、環境監視庁舎としての維持管理は必要なくなったが、市全体で庁舎の活用方法を決定し、有効に財産を活用する必要がある。活用方法が決定するまでの移行期間として、環境保全課で消防点検や樹木剪定等、必要な最小限の維持管理を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>旧環境監視庁舎では、有害物質を使用していたことから、今後、不特定多数の市民が利用するなど、活用方法によっては、環境保全課が土壌汚染対策法に基づく調査等を行う必要がある。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
15時48分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020300	環境保全課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00656	公害防止対策事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	10	環境汚染防止対策の推進		
予算事業	10562	01	04	01 16 02 03 01 公害防止対策事業（公害対策費）
所属長	高島 博	担当者（内線）信川 泰秀（2632）		
根拠法令等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、土壤汚染対策法ほか			
事業開始年度	昭和56年度	直近の改正	平成30年度	
改正内容	大気汚染防止法の改正（水銀に関する規制）			
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 法・府条例に基づかない吹田市遺伝子組換え施設等、病原体等取扱施設及び放射性同位体元素取扱施設に係る市民の安心安全の確保に関する条例等の市条例に基づき、立入検査や指導等を実施しています。			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	企業等の事業活動		
目標	環境法令の遵守		
結果	市民の良好な生活環境の保全		
事業概要	各法令に基づく届出の事前審査や施設の立入検査、指導等を行うことにより、事業活動に伴う大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、土壤汚染、悪臭等による公害を未然に防止します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 建設技術研究所
		委託先②	(株) メーサイ
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	地下水汚染浄化対策検証補助業務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,665	2,231	4,451	2,582	3,455
人件費職員数(人)	13.10	11.70	10.70	10.70	10.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	107,027	92,430	86,157	86,157	85,012
総事業費(A+B)	109,692	94,661	90,608	88,739	88,467
特定財源(C)	3,301	4,886	3,819	5,639	4,152
国	0	0	0	0	0
府	3,301	4,886	3,819	5,639	4,152
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	106,391	89,775	86,789	83,100	84,315
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	106,391	89,775	86,789	83,100	84,315
財源計(C+D)	109,692	94,661	90,608	88,739	88,467

所属	環境保全課
事務事業番号	00656

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	大気関係立入件数(延べ)	件	目標値	60.00	56.00	55.00
			実績値	67.00	59.00	
			達成度(%)	111.70	105.40	
目標値の積算方法	立入計画に基づく	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,412.85	1,504.05	
			一般財源(千円)	1,339.93	1,408.47	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	窒素酸化物排出量(固定発生源)。実績が目標を下回るほうが良い(実質達成度H28 105.25%)	トン/年	目標値	100.50	95.49	0.00
			実績値	95.49	0.00	
			達成度(%)	95.00	0.00	
目標値の積算方法	前年度の実績を目標値とします。(排出量の集約は7月頃となりそれまでは実績値及び目標値を入力できない。)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	991.32	0.00	
			一般財源(千円)	940.15	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:平成29年度は測定機器の更新により事業費総額が増加しているが、各法令に基づく届出の事前審査や施設の立入検査、指導等を行うことにより、市民の生活環境の保全のため適切な費用で事業を実施している。)</p> <p>【指標数値の評価】 立入計画に基づき適正に市内の事業所の状況を把握している。窒素酸化物排出量について、事業所の機器更新等による排出量削減により減少傾向にある。</p> <p>【今後の方向性】 この事業は市民の生活環境保全に寄与する重大な事業と考えており、今後も計画的な立入等の実施により事業を効果的、効率的に実施していく必要がある。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月21日
13時30分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020300	環境保全課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00656	公害防止対策事業		
章	05	環境を守り育てるまちづくり		
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり		
細節	10	環境汚染防止対策の推進		
予算事業	10562	01	04	01 16 02 03 01 公害防止対策事業（公害対策費）
所属長	高島 博	担当者（内線）信川 泰秀（2632）		
根拠法令等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、土壌汚染対策法ほか			
事業開始年度	昭和56年度	直近の改正	平成30年度	
改正内容	大気汚染防止法の改正（水銀に関する規制）			
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 法・府条例に基づかない吹田市遺伝子組換え施設等、病原体等取扱施設及び放射性同位体元素取扱施設に係る市民の安心安全の確保に関する条例等の市条例に基づき、立入検査や指導等を実施しています。			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	企業等の事業活動		
目標	環境法令の遵守		
結果	市民の良好な生活環境の保全		
事業概要	各法令に基づく届出の事前審査や施設の立入検査、指導等を行うことにより、事業活動に伴う大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、土壌汚染、悪臭等による公害を未然に防止します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株)建設技術研究所
		委託先②	(株)メーサイ
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	地下水汚染浄化対策検証補助業務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,665	2,231	4,451	2,582	3,455
人件費職員数(人)	13.10	11.70	10.70	10.70	10.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	107,027	92,430	86,157	86,157	85,012
総事業費(A+B)	109,692	94,661	90,608	88,739	88,467
特定財源(C)	3,301	4,886	3,819	5,639	4,152
国	0	0	0	0	0
府	3,301	4,886	3,819	5,639	4,152
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	106,391	89,775	86,789	83,100	84,315
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	106,391	89,775	86,789	83,100	84,315
財源計(C+D)	109,692	94,661	90,608	88,739	88,467

所属	環境保全課
事務事業番号	00656

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	大気関係立入件数(延べ)	件	目標値	60.00	56.00	55.00
			実績値	67.00	59.00	
			達成度(%)	111.70	105.40	
目標値の積算方法	立入計画に基づく	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,412.85	1,504.05	
			一般財源(千円)	1,339.93	1,408.47	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	窒素酸化物排出量(固定発生源)。実績が現状レベルの維持もしくはさらに下回ることが望ましい。	トン/年	目標値	100.50	95.49	102.31
			実績値	95.49	102.31	
			達成度(%)	95.00	107.10	
目標値の積算方法	前年度の実績を目標値とします。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	991.32	867.35	
			一般財源(千円)	940.15	812.24	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:平成29年度は測定機器の更新により事業費総額が増加しているが、各法令に基づく届出の事前審査や施設の立入検査、指導等を行うことにより、市民の生活環境の保全のため適切な費用で事業を実施している。)</p> <p>【指標数値の評価】 立入計画に基づき適正に市内の事業所の状況を把握している。窒素酸化物排出量について、平成29年度はわずかに増加したが、今後も事業所の機器更新等の際には環境に配慮した施設を導入するように指導していきます。</p> <p>【今後の方向性】 この事業は市民の生活環境保全に寄与する重大な事業と考えており、今後も計画的な立入等の実施により事業を効果的、効率的に実施していく必要がある。</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
11時38分52秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0009020300	環境保全課
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01613	南吹田地下水汚染対策事業							
章	05	環境を守り育てるまちづくり							
節	01	環境負荷の少ない住みよいまちづくり							
細節	10	環境汚染防止対策の推進							
予算事業	11652	01	04	01	16	02	03	02	南吹田地下水汚染対策事業（公害対策費）
所属長	高島 博			担当者（内線）高木 義弘（2638）					
根拠法令等									
事業開始年度	平成28年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	南吹田地域		
目標	南吹田地域の地下水の汚染レベルの低下と汚染拡散防止		
結果	浄化対策を実施し、地下水の汚染レベルの低下及び汚染拡散を防止することにより、水道水源への汚染到達防止確保、南吹田のまちづくりへの影響低減及び地域住民の不安解消に寄与する。		
事業概要	南吹田地域に広がる地下水の汚染状況を把握するための調査を実施するとともに、汚染拡散防止及び浄化対策を実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株)メーサイ
		委託先②	(株)オオバ
		委託先③	(株)建設技術研究所
		主な委託内容	汚染拡散状況調査、対策に関する実施設計
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	32,768	26,946	104,616	30,316	172,381
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	49,108	42,746	120,720	46,420	188,271
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	49,108	42,746	120,720	46,420	188,271
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	49,108	42,746	120,720	46,420	188,271
財源計(C+D)	49,108	42,746	120,720	46,420	188,271

所属	環境保全課
事務事業番号	01613

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> J R東海道本線東側の地下水の高濃度汚染域での対策工事 J R東海道本線東側の追加対策に関する実施設計 J R東海道本線西側での地下水汚染状況調査 	目標	南吹田地域の地下水の汚染レベルの低下及び汚染拡散防止
成果内容	<ul style="list-style-type: none"> 高濃度汚染域の対策工事に着手 追加対策の工事発注の準備 J R東海道本線西側で観測井戸を増設し、地下水質等の基礎データを収集 	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 高濃度汚染域で、揚水井戸の設置及び導水管の一部の布設・追加対策工事の設計書を作成 J R東海道本線西側の汚染レベルの確認

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(企業と合意書を締結し適切な費用負担のもと、対策を実施することとなっているため。)</p> <p>【今後の方向性】 南吹田地域の地下水汚染は、汚染の広がりが確認されていることから、早急な対策が必要です。J R東海道本線東側の高濃度汚染域に関する工事終了次第、周辺環境に留意しながら対策を進め、適宜効果検証を行っていく必要があります。また、J R東海道本線東側の追加対策を別途企業と合意書を締結し行うこととなり、工事発注に必要な設計図書を作成しました。今後速やかに工事を行い、対策に着手する必要があります。一方、J R東海道本線西側については、調査結果をもとに、学識経験者の御意見を伺ったうえで、対策の検討を行う必要があります。</p>	

事務事業分析シート

2018/6/516:49

所属名	環境保全課	事業名	南吹田地下水汚染対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01613				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	84	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	環境保全課	事務事業番号	01613
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業については、水道水源への汚染到達防止、まちづくりへの影響の低減及び地域住民の不安の解消を目的に実施しており、環境部において重要な取組の一つである。 JR東海道本線東側については、高濃度汚染域での対策及び追加対策の実施に向け、具体的な取組を進めます。 一方、JR東海道本線西側については、平成28、29年度に行った調査の結果を踏まえ、学識経験者に御意見を伺った上で、対策を行う必要がある。 早急に効果的な地点で対策を行わなければ、対策費用が膨らみ持続可能な対応が難しくなる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)